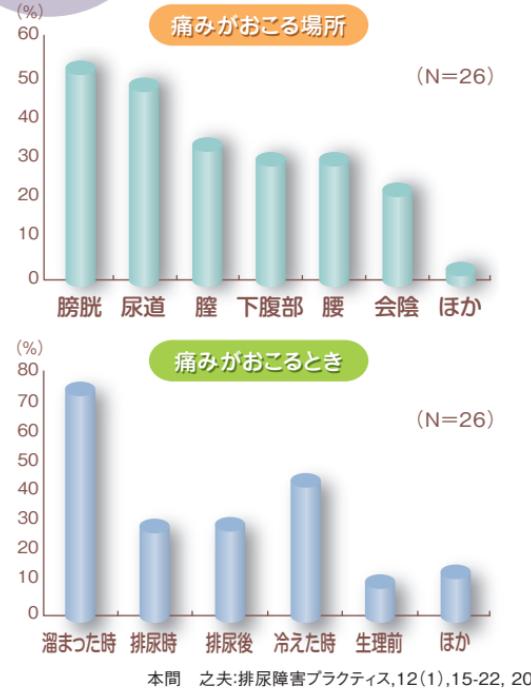


間質性膀胱炎の痛みとは？



おしっこが溜まったときや冷えたときなどに、膀胱やその周りに、原因のはっきりしない痛みをたびたび感じるときには、早めに医師に相談しましょう。

日常生活で気をつけることは？

香辛料、酸っぱいモノを控えましょう。

(わさび、唐辛子、コショウ、柑橘類、トマト、梅干しなど)

(アルコール、カフェインは控えめに)

下半身を冷やすないようにしましょう。



水分をたっぷり補給しましょう。

膝掛け

ストレスをためないようにしましょう。



その他:お風呂に入る際には、柑橘系・酸性の入浴剤の使用には注意しましょう

NPO法人:快適な排尿をめざす全国ネットの会
<http://www.hainyo-net.org/>

泌尿器疾患 シリーズ

3

間質性膀胱炎について

監修:特定非営利活動法人(NPO法人)
快適な排尿をめざす全国ネットの会
理事長 上田 朋宏 先生



間質性膀胱炎は、尿が膀胱の間質（上皮と筋肉の間）にしみこんで慢性的に炎症を起こし、進行すると膀胱が萎縮していく病気です。主な症状は、「頻尿」や「尿意切迫感」、「膀胱痛」で、細菌性膀胱炎や過活動膀胱などとよく似ています。

特に中高年の女性に多く発症します。

間質性膀胱炎の症状は?

頻尿

昼夜を問わず、何度もトイレに行きます。

尿意切迫感

トイレが我慢できなくなります。

蓄尿時の膀胱痛(不快感)

おしっこが溜まると不快感や痛みが強くなり、排尿すると軽くなります。膀胱や尿道だけでなく、その周りや下腹部、腰、大腿部まで痛むこともあります。

その他の症状

残尿感や下腹部がすっきりしない感じ(圧迫感)がすることもあります。



間質性膀胱炎とまぎらわしい病気には?

間質性膀胱炎の主な症状は、下記の病気にもよく見られる症状です。その中で最もまぎらわしい病気は細菌性膀胱炎です。

細菌性膀胱炎は抗菌薬で治療できますが、間質性膀胱炎には抗菌薬が効きません。細菌性膀胱炎に何度もかかったことがあります。抗菌薬を服用しても効かない場合や骨盤内の手術をしたことがある場合には間質性膀胱炎が疑われます。

次に疑われるのが、頻尿・尿意切迫感を主症状とする過活動膀胱です。抗コリン薬を服用しても効かない場合には、間質性膀胱炎が疑われます。

まぎらわしい病気	よく似た症状
細菌性膀胱炎	頻尿
過活動膀胱	尿意切迫感
神経性頻尿	排尿痛
慢性前立腺炎	
膀胱や下部尿管の結石など	

細菌性膀胱炎

大腸菌などの細菌が膀胱内で繁殖し、膀胱粘膜に炎症を起こす病気です。女性に多く、再発しやすい病気です。

過活動膀胱

膀胱の筋肉が不随意に収縮してしまうため、尿意切迫感や頻尿を起こす病気です。性別を問わず40～50歳代以降に起こりやすい排尿障害の一つです。

神経性頻尿

精神的に不安定な状態や緊張が続くことによって、頻尿症状を起こす病気です。成人では女性に多く、小児では男児に多いといわれています。

慢性前立腺炎

前立腺の周りに鈍い痛みや不快感を感じる病気です。非細菌性慢性前立腺炎は間質性膀胱炎との関連性が疑われています。

膀胱や下部尿管の結石

腎臓でできた結石が尿路につまって尿の流れが悪くなる病気で30～50歳代の男性に多くみられます。典型的な症状は血尿、排尿痛、頻尿、残尿感です。